

北区会たより 第22号

花山梅林「観梅のつどい」への参加

3月13日（日）、花山梅林会（環境部会）主催の「観梅のつどい」に参加してきました。小学校南側の広さ9000m²の法面には、紅梅は少し盛りを過ぎていましたが、会の皆さんが丹精を込め育てた約900本の梅の花が咲き誇り、法面全体が、白、ピンク、紅色のグラデーションの霞みがたなびいているようで、爽やかな梅の香りが一面に漂っていました。近隣の家族も観梅に訪れており、「地域街づくり会*」の皆さんから、訪れた方にあたたかい甘酒の接待もありました。お昼は梅の花の下で、各自が持参したお弁当を広げ、楽しい会話にも花が咲きました。

花山梅林は、30名*の会員が北区に「神戸一の梅の名所づくり」を目指して活動されています。この会のお世話をされておられる徳原尚世さん*は、来年は「観梅会」へもっと多くの方の参加と、会の活動への参加を呼びかけておられました。



花山梅林 連絡先 徳原尚世（国9）583-6761

*上記記述、一部改訂

H28年度北区会行事スケジュールについて

北区会関連の行事スケジュールは下記の通りです。多くの方の参加をお願いします。

- H28年5月21日（土）グループわ総会
- H28年6月 初旬北区会総会、新入会員歓迎会
- H28年7月30日（土）しあわせの村祭り
- H28年10月5日（水）北区会グラウンドゴルフ大会
- H28年10月8日（土）シルバーカレッジ学園祭
- H28年10月15日（土）グループわグラウンドゴルフ大会
- H28年11月 北区会親睦バスツアー
- H28年12月 北区役所しあわせの村ロードレース大
- H29年1月 北区新年懇親会

「あいな里山公園」 見学会報告！

北区会道満俊徳記

しあわせの村に隣接している、北区にある「あいな里山公園」の事。その公園が 6月にはオープンされる事など・・・ご存知ですか？

この公園の正式名：「国営明石海峡公園」で、明石海峡大橋を挟んで「淡路島国営明石海峡公園」と「国営明石海峡公園神戸地区」に分かれています。

その内、淡路島国営明石海峡公園は平成 14 年 3 月に開園され、北区藍那にある、国営明石海峡公園神戸地区は、現在開園間際の最終整備工事中です。

この公園、規模は 234 ヘクタールと膨大な面積（甲子園球場の 18 倍の面積）かつては藍那住民の生活圏里地里山と察する次第です。そして昭和 30 年来（燃料革命）、放置林となっていた場所が、神戸では最大の自然里山里地公園だと知り、兎も角これは「百聞は一見にしかず」と思い、現管理事務所において、園内見学の見学許可を得ましたので北区会幹事方で開園前の見学会をすることにしました。

当日は雨天で肌寒い日でしたが、12 名の有志が元気に参加されました。

10 時過ぎに公園建屋で、本日のボランティア活動の講義などを聴聞し、その後に公園管理方に園内ガイドを依頼したところ、何と今は急ピッチで工事進行中、危険ですから、園内の見学は出来ない！と言われ、愕然となった次第です。（しかし我々も少しは現地の状況を見たいので危惧していました）ところが突然、担当者のお一人が、「折角見学の目的で来られたので、工事の妨げのないように、自動車でも園内簡単に案内をしましょう」と申され、約数十分主要な箇所を案内と説明を聞くことができました。当初の目的は全くできず、本日の見学会は 12 時過ぎに終了となりました。

尚、この見学会目的は 3 つの項目でした。①公園原姿を知る＝手つかずで膨大な放置林二次林里山、100 箇所もあるため池、歴史街道等々。②以前からこの公園に多くのボランティア団体（多分 13 団体）の活動状態 ③ほかに新たなボランティア活動のニーズはあるのか？ など々でした。

それでも僅かな時間でしたが、現地に入って見学出来た事により、唯一好情報は①オープン後には益々多くのボランティア市民の重要がある事 ②この素晴らしい大公園が生物多様性（地球上の命のにぎあい）の場であり、手つかずの里山林は多様な自然環境が今後は永遠に保持される事でした。 追記：神戸地区は 4 つのゾーンに分かれます

棚田ゾーン；里地里山景観保全・継承するゾーン里地里山の生活技術や文化を継承するゾーン

森のゾーン；余暇活動や自然環境の大切さを学習するゾーン 公園の中核となるゾーン

自然保全ゾーン；豊かな自然観光の保全を図るゾーン貴重な動植物の生息・生育

水と緑のゾーン；水と緑の景観を演出するゾーン



「あいな里山公園」へのアクセス

以上



神戸地区 4つのゾーン（完成時）